

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書 九州-(043)

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	東九州支部	(2)記載者氏名:	飯田 勝之	会員番号:	10912	事務局整理記入欄	東九州 - 33
分水嶺区分	K0785平治岳 ~ K079大船山		(3)山行日:	2006年	4月	23日	(4)天候 晴

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

阿南寿範	9169	中野 稔	13997				
飯田勝之	10912						
西 あずさ	12347						
園田暉明	13135						
計			5名	計			名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	平治岳から大戸越、北大船を経て大船山まで												
アプローチ:	九重北麓の吉部の大船林道ゲートから入山、坊ガツルから吉部へ下山												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	大船林道ゲート	大船山	131	15	30.4	33	7	44.9		7:28		A-2	
分水嶺到達点	大窓鞍部	大船山	131	16	14.8	33	7	19.6	8:38	8:45		A-2	
K0785	平治岳	大船山	131	16	22.1	33	6	44.1	10:00	10:25		A-1	
	大戸越	大船山	131	16	25.2	33	6	27.1	11:00	11:08		A-1	
	北大船	大船山	131	16	32.6	33	5	58.8	12:08	12:10		A-1	
分水嶺離別点K079	大船山	大船山	131	16	50.4	33	5	41.9	12:45	13:53		A-1	
	坊ガツル	大船山	131	16	46.7	33	5	46.7	15:05	15:35		A-1	
歩行終了点	吉部登山口								16:52			A-1	
										総歩行時間(休憩時間を除く):			
										総所要時間			

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
K0785	平治岳	3	傾く	可	山頂の地面が三角点埋設時より下がり40センチほど浮き上がり傾いている(写真)
K079	大船山	3		無し	三角点石柱はなくなり、山頂の石に銅の円盤が埋め込まれているだけ

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

大船山の北の稜線は登山道が流水により削り込まれて小さな谷状になり、分水嶺稜線を斜断しているため、地形上は大分川に流れるべき水が、登山道を伝って筑後川へと流れるように、流域変更をもたらしている。(写真)

(9)水および植生に関連した特記事項

平治岳、大船山のミヤマキリシマ群落は、今年も新芽に虫(クジュウフユシヤクなど)の害を受け始めており、花のシーズンには相当な食害状況を見せそうである。

(10)その他の特記事項

平治岳、大船山ともに山頂の地面は年々削り取られており、昭和40年代以前に比べて平治岳は40~50cm、大船山は1m以上山頂の地面が低くなっていると思われる。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
平治岳山頂の三角点
大船山北の稜線の登山道(稜線の端を切って大戸越に下っている)

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



平治岳山頂の三角点



大船山北の稜線の登山道(稜線の端を切って大戸越に下っている)